

2025年3月14日

各位

会社名 中山不動産株式会社
(コード番号 5531 TOKYO PRO Market)
代表者名 代表取締役社長 中山 耕一
問合せ先 取締役管理本部長 加藤 勝
TEL 052-212-6072
URL <https://www.nakayamafudousan.co.jp/>

2025年1月期 通期業績予想と実績の差異に関するお知らせ

当社は、2024年3月14日に公表いたしました2025年1月期(2024年2月1日~2025年1月31日)の通期業績予想値と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 2025年1月期通期業績予想と実績値との差異(2024年2月1日~2025年1月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	5,794	154	50	24	600.00
当期実績 (B)	5,077	133	50	28	724.76
増減額 (B-A)	△716	△20	0	4	-
増減率 (%)	△12.4	△13.3	1.5	20.8	-
(ご参考) 前期実績(2024年1月期)	3,348	65	26	26	663.55

【差異の理由】

2025年1月期は、個人消費やインバウンド需要が回復、企業収益も改善するなど、緩やかな景気回復の傾向が継続いたしました。一方で、円安による物価の上昇やエネルギー価格や原材料価格の高騰に加え長期化するウクライナ情勢や中東情勢の緊迫化など不安定な国際情勢や日本銀行による金融政策の見直しにより一部の金融機関で住宅ローンの基準金利が引き上げられるなど、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

こうした環境のもと、当社は、総合不動産会社として市場の変化に合わせた販売方法や商品開発を進め、求職者支援訓練校など幅広い事業展開を行い、長期的かつ安定的な収入を獲得できるようなスキームを構築し、永続的な企業価値の増大を遂げることに注力いたしました。しかしながら、2025年1月期に販売する計画であった高価格帯の物件で販売が翌期に延期となってしまった物件があったため、売上高、営業利益は業績予想を下回りましたが、経常利益、当期利益は業績予想と同水準の結果となりました。

【本件に関する問合せ】 管理本部 担当 電話 052-212-6072

以上